

令和6年度 指定管理者年度評価シート

1 基本情報

施設名称	大阪市立男女共同参画センター南部館
施設所管課・担当	市民局ダイバーシティ推進室男女共同参画課（電話：06-6208-9156）
条例上の設置目的	男女共同参画社会の実現をめざす活動の拠点として、男女が社会の対等な構成員として社会のあらゆる分野における活動に参画し、個人として能力が発揮できるよう多面的な支援を行うことにより、男女共同参画社会の形成に寄与することを目的とする。
業務の概要	センター施設の管理・運営、男女共同参画社会の形成に関する情報の収集及び提供、男女共同参画社会の形成に関する講演会・講習会・研修会等の開催、男女共同参画社会の形成に関する啓発、その他市長が必要と認める事業。
成果指標	貸室等利用率／貸室等利用者満足度／情報・図書コーナー利用者数／講座受講者数／講座受講者満足度
数値目標	58.0%以上／80%以上／3,900人以上／1,000人以上／80%以上
指定管理者名	大阪市男女共同参画推進事業体（南） （代表者）一般財団法人 大阪男女いきいき財団 （構成員）リッジクリエイティブ株式会社
指定期間	令和2年4月1日 ～ 令和7年3月31日
評価対象期間	令和6年4月1日 ～ 令和7年3月31日

2 管理運営の成果・実績

成果指標	貸室等利用率	貸室等利用者満足度	情報・図書コーナー利用者数	講座受講者数
数値目標	58.0%以上	80.0%以上	3,900人以上	1,000人以上
年度実績	53.1%	99.9%	3,579人	1,523人
達成率	91.6%	124.9%	91.8%	152.3%

成果指標	講座受講者満足度
数値目標	80.0%以上
年度実績	97.8%
達成率	122.3%

利用状況

	当年度	前年度	前年度比
利用人数	104,882人	122,262人	△ 17,380人
稼働率	53.1%	51.4%	1.7%

3 収支状況

収入		当年度	前年度	差異（実績－計画）	主な要因
業務代行料	実績	52,315,281	49,833,725	2,384,281	改修工事に伴う利用料金の補填等のため
	計画	49,931,000	50,008,000		
利用料金収入	実績	16,118,160	17,582,110	△ 2,527,840	改修工事に伴う貸室等の供用停止による利用率の減等のため
	計画	18,646,000	18,550,000		
その他収入 （自主事業収入）	実績	6,233,944	4,830,349	△ 3,949,056	
	計画	10,183,000	10,036,000		
合計	実績	74,667,385	72,246,184	△ 4,092,615	
	計画	78,760,000	78,594,000		

令和6年度 指定管理者年度評価シート

支出		当年度	前年度	差異(実績-計画)	主な要因
人件費	実績	39,695,477	43,905,025	3,195,477	人件費単価増等のため
	計画	36,500,000	36,500,000		
物件費	実績	31,148,358	31,032,403	△ 1,408,642	光熱水費の減等のため
	計画	32,557,000	32,534,000		
その他事業費 (自主事業支出)	実績	3,685,595	2,865,152	△ 6,017,405	
	計画	9,703,000	9,560,000		
合計	実績	74,529,430	77,802,580	△ 4,230,570	
	計画	78,760,000	78,594,000		

4 管理運営状況の評価(1次評価)

(1) 成果指標の達成

評価項目	達成率	評価	特記事項
貸室等利用率	91.6%	B	
貸室等利用者満足度	124.9%	S	
情報・図書コーナー利用者数	91.8%	B	
講座受講者数	152.3%	S	
講座受講者満足度	122.3%	S	

(2) 管理経費の縮減

市費の縮減に係る取組状況	評価	特記事項
・スプリングコンサートや調理実習、一時保育など、施設機能を活かしながら、職員がコーディネート等を行い、施設運営の一体化や効率化を図った。	B	・施設運営と保守業務の専門性をもつ事業体構成強みを活かして、効果的で効率的な維持管理を行った。

(3) 管理運営の履行状況

評価項目	評価	特記事項
施設の設置目的の達成及びサービスの向上		
施設の管理運営	S	・令和6年度は舞台照明・音響設備等の改修工事のために5月から8月までホールを休止したことが影響して利用者数が減少したが、一方で施設の広報に努め、フェスタやコンサート、自主講座などの集客を促進する事業を積極的に展開し、施設稼働率は昨年度より増加した。
事業計画の実施状況	A	・女性の人材育成として、女性の仕事力アップや地域活動を支援するセミナーを開催した。 ・オンラインセミナーの開催後、期間限定で視聴できる見逃し配信を実施した。 ・地域団体等によるイベント出展の協力を得て開催した「クレオ大阪南フェスタ」の参加者ののべ人数が2,100人以上にのびた(昨年度1,300人)。 ・地元中学・高校の吹奏楽部を招致してスプリングコンサートを開催し、赤ちゃんの泣き声も可として子育て中の方が参加しやすくすること、館の利用促進を図ることを意図して、地域の方々が楽しめるひとときを提供した。
施設の有効利用	B	・「女性に対する暴力をなくす運動期間」にリボンをかたどった台紙を館内に掲示し、館利用者にダブルリボン(パープルとオレンジ)を貼ってもらうことで、関心をもってもらい、取組のすそ野を広げた。
社会的責任・市の施策との整合性	S	・館内ゴミ箱の撤去、リサイクル資源の回収ボックスの設置などの継続的な取組を実施。 ・共用部の照明設備をLED化することによる省エネルギーの実践

5 利用者ニーズ・満足度等

令和6年度 指定管理者年度評価シート

<p>【令和6年度実績】 スタッフ対応満足度：99.9% 受講者満足度：97.8%（男女共同参画セミナー）</p> <p>【参考：令和5年度実績】 スタッフ対応満足度：99.9% 受講者満足度：96.0%（男女共同参画セミナー）</p>
--

6 外部専門家意見

<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の流行以降、会議等のオンライン化が急速に進み、貸室等のニーズに変化が生じていることから、利用施設のあり方等について今後新たな検証が必要ではないか。 ・地域の居場所づくり事業では高齢者層の参加が多いので、男女問わず多様な年齢層が異なる年齢層と一緒に何か取り組めるような仕組みを検討いただきたい。 ・スプリングコンサートでは、赤ちゃんの泣き声も可とすること参加しやすい工夫がされており、評価できる。 ・クレオ大阪の事業やサービス等をアピールし、別の目的で来館された方のさらなる利用や男女共同参画の理解促進に繋げていただきたい。 ・出前セミナーを学校で実施する場合は多くの受講者が見込まれるので、これをパッケージ化して活用すればさらに受講者を増やすことができ、広く啓発の効果に繋がる。 ・次世代育成の取組み（12才のハローワーク）においては、男性の多い職場に女性、女性の多い職場に男性が職業体験を行うといった取組みがあってもよいと思う。男女共同参画センターが行う職場体験は、他機関が行うものと一味違うという特色をもたせてほしい。 ・男女共同参画センターが実施するイベントは、クレオの認知度を上げるためのものと男女共同参画の理解を深めていただくものを切り分けて、それぞれ意識して実施されるべき。
--

7 最終評価

評価項目	評価	所見
成果指標の達成	A	・貸室利用率が数値目標を下回ったものの、残りのすべての項目が数値目標を上回った。
市費の縮減	B	・利用者サービスの向上に努めつつ、限られた予算の範囲内で多様な事業が実施できるよう経費を抑えながら効用を最大化する施設・事業運営が行われた。 ・物価高騰が続いているものの、今後も経費削減に努めるとともに、利用料金を中心とした収入の確保に努めていただきたい。
管理運営の履行状況	A	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者や受講者の要望を把握し、数値目標の達成に向けて課題を分析し、引き続き利用促進に努められたい。 ・地域の特性や特色等を把握し、ニーズに合わせた事業を実施されたい。 ・男女共同参画センター各館と連携し、各館で事業のすみ分けを行うなど、幅広い分野をカバーして男女共同参画施策を展開されたい。 ・イベント等の開催にあたっては、参加者数や施設認知度の向上の観点と、男女共同参画の理解促進の観点を切り分けて、それぞれ意識的に企画・実施されたい。
施設の設置目的の達成及びサービスの向上		
施設の管理運営		
事業計画の実施状況		
施設の有効利用		
社会的責任・市の施策との整合性		
総合評価	B	・令和3年3月に策定した「大阪市男女きらめき計画」の趣旨・目的を踏まえた適切な管理運営が行われていると評価できる。